

# 令和5年度小平市立鈴木小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

## 1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

## 3 各教科の調査結果の分析

### 【国語】

#### 状況の分析

#### 課題

- 全体の正答率は、全国・都平均とほぼ同水準である。
- 観点別に見ると「知識・技能」は全国・都平均とほぼ同水準であるが、「思考・判断・表現」は都の平均を約1ポイント下回っている。

- 領域別に見ると「話すこと・聞くこと」「書くこと」が、全国・都の平均を下回っていることが課題である。
- 問題形式別に見ると記述式の正答率が全国の平均とほぼ同水準であるが、都の平均を下回っており、文章を書く力の向上を図りたい。

#### 学校で取り組む具体的な改善策

- ・読むことや書くことに主体的に取り組む授業、対話型の授業を軸とし、話し合いや学び合いの場を多く設定し「説明力」「批判的思考力」さらには「多面的な考察力」等を育んでいく。
- ・「考えをまとめる力（書くこと）」に関しては、自分の考えをノート等を書く活動を増やしていく。事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるような書き表し方の指導を充実させる

### 【算数】

#### 状況の分析

#### 課題

- 全体の平均正答率は、全国の平均を3.5ポイント上回っており、都の平均を1ポイントほど下回っている。
- 観点別に見ると「知識・技能」は全国・都の平均を上回っている。一方「思考・判断・表現」は全国の平均とほぼ同水準であるが、都の平均を約5ポイント下回っている。

- 「A 数と計算」の式を場面と関連付けて読み取ることや、「C 変化と関係」の知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題が見られる。
- 「B 図形」では、判断した理由や見出した違いを言葉や数を用いて記述する力に課題が見られる。

#### 学校で取り組む具体的な改善策

- ・授業では、ノートに計算式や答えを書くだけでなく、自分の考えを言葉にして書く活動を積極的に取り入れる。考えを発表・交流する場を大切にし、順序立てて説明する力や論理的に思考する力を養うようにする。
- ・「図形」「データの活用」に関しては、ICT を効果的に活用し、図形作成やデータの収集・整理・分析・表現に積極的に役立てるようにする。

## 【質問紙】

## 状況の分析

## 課題

- 全体的に生活習慣や学習習慣、規範意識に関して肯定的な回答をしている児童が多い。
- 「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めているか」という質問に88%の児童が肯定的な回答であり、全国・都の平均より11ポイント以上も高い。
- 「読書が好きですか」という質問では、90%の児童が肯定的な回答であり、全国・都の平均を約20ポイント上回っている。

- 「自分には、よいところがある」と「将来の夢や希望を持っている」という、自己有用感に関する二つの質問は、肯定的な回答が全国・都の平均を下回っており、課題である。
- 「困りごとや不安があるとき、先生や大人に相談できるか」という質問では、肯定的な回答が全国・都の平均を下回っている。

## 学校で取り組む具体的な改善策

- 「人の役に立つ人間になりたい」の肯定的な回答が100%に対し「自分にはよいところがあると思う」の肯定的な評価は80%であった。この差を埋めるために、人の役に立ちたいと考え、最後までやり遂げたこと、自分の取り組んだことに対して、周囲の大人が十分に認める、また、児童相互で認め合う姿を価値付けるようにしていくようにしていく。
- 昨年度に引き続き、「自分の不安を相談する」ことについては、あまりできていない児童が見られる。担任だけでなく、全教職員で児童の悩みや不安を受け止めるとともに、SCやSSWと連携し、「困ったときには安心して誰でも相談できる」という環境を整えていく。また「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」を活用した授業を行ったり、外部の相談機関の紹介、相談の仕方を伝えたりしていく。